

5行レシピ<チラシづくり編>

強弱(コントラスト)を意識してみましょう。大小ではなく強弱と記したのは、下の図のように大きさの違いが必ずしも強弱とはならないためです。

びっくりするくらい大胆に差をつけてみるのが、上達の近道ですよ^^

コントラストは、本来の意味は少し違いますが、この場では強弱としています。具体的な方法として、大小で差をつけようとしがちですが、先に説明したように、大小では差がはっきりとしない場合もできます。

また、スペースの都合で、大きさで差をつけにくい場合もあります。この場合は、色の濃淡や書体では、太さ、装飾(色のボックスをつくり、文字を白抜きにするなど)などで差をつけることもできます。

どこを目立たせたいのかは作業する前に、確認しておく必要があります。何を強く伝えるのかは、事業やイベントの企画自体にも関連してくるからです。



▲文字の大きさは左側が大きいです。読みやすいのはどちらでしょうか

5行レシピ<団体運営編>

ルール(会則)をつくりましょう。つくる過程では、全員が関わる工夫をしましょう。

グループが結成されて、時間が経過していくとやがて文章化された会則が必要な時期がきます。団体運営には必要な約束事ですから、避けては通れないでしょう。

世話人の方々は、必要になる前から会則案を練っておくように心がけましょう。その過程で関わっているメンバー全員が関われる工夫が必要です。つくる人、守る人の区別ができてしまうと、その後の運営に支障をきたす場合もありますので注意が必要です。主な項目は、以下のような点があげられます。参考にしてみてください。

- ・グループ名称
- ・連絡先
- ・目的・活動内容
- ・入会資格、会費の有無、納入方法
- ・役員機能と選出方法
- ・役員の仕事
- ・総会について(機能や開催頻度など)
- ・会則改正について

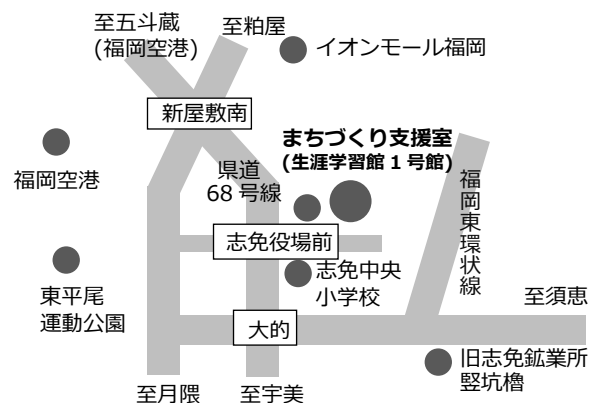
(参考サイト：東京ボランティア・市民活動センター)

■主な役割と設備

住民活動に関する相談やアドバイスを行なうとともに、NPO・ボランティアのさまざまな情報を発信しています。

また打合せスペース、チラシ等を作成する印刷機(有料)、団体の活動を紹介する情報コーナーなど、団体の活動で利用できる設備があります。

次号<Vol.06>は2015年6月発行予定です。



- 発行：志免町まちづくり支援室
- 発行日：平成27年(2015年)3月31日
- 編集：NPO法人ミディエイド
- 住所：〒811-2244
福岡県糟屋郡志免町志免中央1-3-2
(生涯学習1号館内)
TEL：092-936-8626
FAX：092-936-8626
E-mail：collabo@town.shime.lg.jp
- 開館時間：9：00～22：00
(17時以降に利用希望の場合は、必ず事前予約が必要)

The 志免町まちづくり支援室

2015.03.31

Vol.05

<本号の内容>

- ★初開催！～講座の報告～
- ★「登録団体リーフ」活用術
- ★活動に役立つ5行レシピ



団体運営講座

団体の運営資源の分析や審査員目線の企画書にトライしました。

2/3・10

2月3日・10日の両日に「団体運営講座」を開催しました。ワークを随時はさみながらの講義形式で、講師はNPO法人ミディエイド代表理事の今村晃章が担当しました。

1回目の「活動資金の自主的な確保～必要な戦略を考えよう～」では、団体の運営資源の分析や、資金源の性格などを考慮した活動資金確保の戦略について学びました。

参加者からは、「頭の中のなんとなくの知識が明確になり、活動内容を再考するきっかけになった」「資金確保の方法を明確にできた」などの声が寄せられました。

2回目の「企画立案を学ぶ」では、助成金の審査員目線を盛り込んだ企画書の書き方が実践的でイメージをしやすく、参加者の学びにつながりました。



広報講座

「つくるだけじゃないのが広報」。作成する前の準備やデザインのルールを学びました。

2/20 3/06

また、2月20日・3月6日の両日には「団体広報講座」を開催しました。講師はNPO法人ミディエイド理事の芹田博が担当しました。

1回目の「誰に何を伝えるのか」では、対象やターゲットを絞った企画や広報の戦略を計画することが重要であることを学びました。

2回目の「ルールに基づいた紙面づくり」では、実例からデザインのルールを学びました。特にレイアウトを意識してみることや強弱・コントラスト(レイアウトの優先順位)は、ターゲットや企画内容に連動することが強調されました。

参加者からは「ターゲットを絞る大切さを学んだ」「思っていたより強弱やメリハリをつけて良いと分かった」などの声が寄せられました。

